**②　定款にその他の事業を掲げ、その他の事業を行う場合**

○○年度　活動予算書

　　年　　月　　日から　　年　　月　　日まで

（設立の初年度の場合は、「法人成立の日から　　年　　月　　日まで」と表記）

特定非営利活動法人○○○○

（単位：円）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目 | 特定非営利活動に係る事業 | その他の事業 | 合計 |
| Ⅰ　経常収益 |  |  |  |
| 　　１　受取会費 |  |  |  |
| 　　　　正会員受取会費 | ××××××××× |  | ××× |
| 　　　　賛助会員受取会費施設等評価費用も併せて計上（計上は法人の任意） |  | ××× |
| 　　　　・・・・・・・・ |  | ××× |
| 　　２　受取寄附金 |  |  |  |
| 　　　　受取寄附金 | ××× |  | ××× |
| 　　　　施設等受入評価益 | ××× |  | ××× |
| 　　　　・・・・・・・・ | ××× |  | ××× |
| 　　３　受取助成金等 |  |  |  |
| 　　　　受取民間助成金 | ××× |  | ××× |
| 　　　　・・・・・・・・ | ××× |  | ××× |
| 　　４　事業収益 |  |  |  |
| 　　　　○○事業収益 | ××× |  | ××× |
| 　　　　△△事業収益 | ××× | ××× | ××× |
| 　　５　その他収益 |  |  |  |
| 　　　　受取利息 | ××× |  | ××× |
| 　　　　雑収益人件費とその他経費に分けた上で、費用の形態別に内訳を記載 | ××× |  | ××× |
| 　　　　・・・・・・・・ | ××× |  | ××× |
| 　　経常収益計 | ××× | ××× | ××× |
| Ⅱ　経常費用 |  |  |  |
| 　　１　事業費 |  |  |  |
| 　　　 (1) 人件費 |  |  |  |
| 　　　　　　給料手当 | ××× | ××× | ××× |
| 　　　　　　法定福利費 | ××× | ××× | ××× |
| 　　　　　　退職給付費用 | ××× |  | ××× |
| 　　　　　　福利厚生費 | ××× | ××× | ××× |
| 　　　　　　・・・・・・・・施設等受入評価益も併せて計上（計上は法人の任意） | ××× |  | ××× |
| 　　　　　　人件費計 | ××× | ××× | ××× |
| 　　　　(2) その他経費 |  |  |  |
| 　　　　　　会議費 | ××× |  | ××× |
| 　　　　　　旅費交通費 | ××× | ××× | ××× |
| 　　　　　　施設等評価費用 | ××× |  | ××× |
| 　　　　　　減価償却費 | ××× |  | ××× |
| 　　　　　　支払利息 | ××× |  | ××× |
| 　　　　　　・・・・・・・・ | ××× | ××× | ××× |
| 　　　　　　その他経費計 | ××× | ××× | ××× |
| 　　　　事業費計人件費とその他経費に分けた上で、費用の形態別に内訳を記載 | ××× | ××× | ××× |
| 　　２　管理費 |  |  |  |
| 　　　 (1) 人件費 |  |  |  |
| 　　　　　　役員報酬 | ××× |  | ××× |
| 　　　　　　給料手当 | ××× |  | ××× |
| 　　　　　　法定福利費 | ××× |  | ××× |
| 　　　　　　退職給付費用 | ××× |  | ××× |
| 　　　　　　福利厚生費 | ××× |  | ××× |
| 　　　　　　・・・・・・・・ | ××× |  | ××× |
| 　　　　　　人件費計 | ××× |  | ××× |
| 　　　　(2) その他経費 |  |  |  |
| 　　　　　　会議費 | ××× |  | ××× |
| 　　　　　　旅費交通費 | ××× |  | ××× |
| 　　　　　　減価償却費 | ××× |  | ××× |
| 　　　　　　支払利息 | ××× |  | ××× |
| 　　　　　　・・・・・・・・ | ××× |  | ××× |
| 　　　　　　その他経費計 | ××× |  | ××× |
| 　　　　管理費計 | ××× |  | ××× |
| 　　経常費用計 | ××× | ××× | ××× |
| 　　　　当期経常増減額 | ××× | ××× | ××× |
| Ⅲ　経常外収益 |  |  |  |
| 　　１　固定資産売却益 | ××× |  | ××× |
| 　　　　・・・・・・・・ | ××× |  | ××× |
| 　　経常外収益計 | ××× |  | ××× |
| Ⅳ　経常外費用 |  |  |  |
| 　　１　過年度損益修正損その他の事業で得た利益の振替額 | ××× |  | ××× |
| 　　　　・・・・・・・・ | ××× |  | ××× |
| 　　経常外費用計 | ××× |  | ××× |
| 　　　　経理区分振替額 | ××× | △××× | ××× |
| 　　　　当期正味財産増減額 | ××× | ××× | ××× |
| 　　　　前期繰越正味財産額 |  |  | ××× |
| 　　　　次期繰越正味財産額 |  |  | ××× |

　（備考）

　　１　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ列４番とする。

　　２　設立当初の事業年度及び翌事業年度の活動予算書はそれぞれ別に作成する。なお、設立当初の活動予算書は、設立認証申請予定日のおおむね３か月後から事業年度末までの期間について記載する。

　　３　定款上、「その他の事業」に関する事項を定めている場合で、その他の事業を実施していないときは、「その他の事業」欄の数字をすべてゼロとするか、20頁～21頁の作成例を使い、脚注に「※今年度はその他の事業の実施を予定していません。」と明記する。

　　４　その他の事業から収益が生じる場合には、その他の事業会計から特定非営利活動に係る事業会計への繰入が明らかになるような科目として「経理区分振替額」を追加する。

　　５　設立時の資金がある場合は、設立当初の事業年度に設立時正味財産額としてその額を記載する。翌事業年度以降は、前年度の活動予算書に次期繰越正味財産額として掲げた額を、前期繰越正味財産額として記載する。

　　６　「事業費」とは、法人の事業の実施のために直接要する費用で、管理費以外のものをいい、当該事業の実施のために直接要する人件費、交通費等の費用が含まれる。）等が挙げられる。なお、事業計画書に記載している内容との整合性を図る。

　　７　特に、費用規模（事業費＋管理費）でみた特定非営利活動に係る事業の割合、総費用に占める管理費の割合等は、特定非営利活動を行うことを主たる目的とすること、営利を目的としないものであることという法定要件への適合性の判断材料となる。（この点については、「北海道におけるＮＰＯ法の運用方針」（89頁）を参照。）

　　※　この書面は、申請受理後２週間、縦覧されます。